

仕事も子育ても、あきらめない社会へ

子育ては家庭だけで抱え込むものではなく、地域や社会全体で支え合うものです。育児をしながら、自分らしく輝ける情報をご紹介します。

子育てサポートについて

前橋市ファミリー・サポート・センターの情報は、二次元コードからご覧いただけます。



私は子育て経験を活かして、いくつかの育児支援を行っています。

その中の1つが、【前橋市ファミリー・サポート・センター】の【まかせて会員】です。

【前橋市ファミリー・サポート・センター】とは、育児支援を行う会員組織です。このセンターは、育児の援助を行う人【まかせて会員】と、援助を受けたい人【おねがい会員】、そのどちらもの【どっちも会員】からなり立っています。

【まかせて会員】は、【おねがい会員】からの依頼があったときに、園の送迎や帰宅後のお子さんの預かり、学童保育の迎えや帰宅後の預かり、保護者等の外出時の預かりなどを行っています。

事前に会員登録が必要で、【まかせて会員】【どっちも会員】は無料の講習を受けます。また、安心して利用ができるように、お願いする人と引き受ける人が、事前の打ち合わせを行います。

私がお子さんをお預かりするときは、一緒に散歩したり、絵本の読み聞かせやおもちゃ遊びをして過ごします。

今後も【まかせて会員】として、子育て家庭を支えていきたいと思っています。

(記事: 笹澤)



お預かりの様子

子育て支援合同企業説明会が開催されました！

令和8年2月19日(木)日本トーターグリーンドーム前橋サブイベントエリアにおいて、子育て中の方を対象とした、合同企業説明会が開催されました。

参加企業は、子育てと仕事の両立に理解のある市内企業26社が参加されました。そして、70名以上の子育て中のお母さんが来場されました。



当日の様子

また、当日は、男女共同参画について理解を深めていただくために、前橋市共生社会推進課が、当ニュースレター「新樹」やパネルを展示しました。

お仕事をお探しのお母さんは、ジョブセンターまえばしにある「ハローワークマザーズコーナー」まで、お気軽にお越しください。

来年度も「子育て中の方と企業の交流会」や合同企業説明会を開催予定です！



(記事: 住谷)

展示パネル

前橋市からの
お知らせ

男女共同参画セミナーを開催しました！

今年度は、株式会社ザスパ代表取締役社長兼 GM(1月24日当時)
細貝 萌^{ほそがいはじめ}さんを講師としてお招きしました。

細貝さんは、サッカー人生や海外での経験、病気やけがを乗り越えた日々を振り返りながら、「男女共同参画は、誰かのためではなく、自分自身が自分らしく生きるための考え方だと思っている。今日のセミナーに参加した皆さんにも、地域、職場、家庭などで前に進む力になる一つのきっかけになってほしい。」とお話されました。



ほそがいはじめ
細貝 萌さん

明日からできる
3つのポイント



- 1 決めつける前に一度聞いてみる
- 2 意見を引き出すように質問する
- 3 当たり前を疑う

～ 編集後記 ～

前橋市男女共同参画ニュースレター「新樹」は、5人の市民編集委員さんが取材から作成までを担当しています。今年度の最終号ですので、編集後記をご紹介します。

今回は高井ゆと里先生のセミナーの様子を記事にまとめました。「LGBTQを裏から考える」と題したセミナーは、とても興味深いものでした。社会構造を知るとマイノリティとされてきた人たちの存在もおのずと見えてきます。誰もが排除されない社会になっていくと良いな、と思います。



石井沙也加
編集委員

今回は飯玉神社のご神職夫妻にお話を聞かせていただきました。なかなか一般的にはなじみのない神職の世界のお話や、ご夫婦でのやり取りなどがとても興味深く、楽しく取材させていただきました。ありがとうございます。

私もこれを機会に、神社仏閣を大切にしていきたいと思います。



狩野光洋
編集委員

女性に対する暴力をなくすパープルリボン運動と、働く女性・子育てママを支える記事を担当しました。支援の現場に触れ、安心して生き、働ける環境づくりこそ男女共同参画の基盤だと思います。今後も「誰かの苦しみに気づける自分でありたい」と実感しました。



笹澤嘉子
編集委員

「企業で活躍するお母さん」をテーマに記事を書かせていただきました。

多様な意見や視点に触れる中で、男女共同参画は特別なことではなく、日々の仕事や暮らしの中にある、身近なものだと感じました。これからも、誰もが働きやすい男女共同参画社会を目指していければと思います。



住谷智香
編集委員

今年度より編集委員を務めております。

男女共同参画を身近なテーマとして伝えられる紙面を目指しています。

今回は社会課題に挑む女性団体取材しました。

皆さまの新たな気づきにつながれば幸いです。



山口智子
編集委員

このニュースレターは、市民ボランティア編集委員と前橋市が協働で作成しました。

前橋市 市民部 共生社会推進課 Tel 027-898-6517